



# Tanabe East Rotary Club in 2015-16

2015-16年度RI会長: K.R. ラビンドラン  
 第2640地区ガバナー: 豊澤 洋太郎  
 創立: 昭和49年5月15日  
 会長: 坂本 正人  
 幹事: 畔田 実  
 会報: 本田 耕二 委員長

例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
 きのくに信用金庫田辺支店3F  
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
 http://tanabe-east-rc.com/  
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp  
 例会: 毎週水曜日 12:30~  
 ビジターフィー ¥2,000



## ○本日の唱歌

「我等の生業」

唱歌委員 奥平 朋久君  
 作詞: 高野 辰之  
 作曲: 岡野 貞一



## ○ゲスト: ビジター

田辺RC 三谷 昌平様  
 ようこそお越しくださいました。



## ○出席報告

会員数 47名 義務免除 4名 本日の欠席者 7名  
 出席率 83.33% 7月8日の修正出席率 95.45%

## ○にこにこ報告 (敬称略)

◇お世話になります。  
 田辺RC 三谷昌平様

◇再度御世話になります。  
 阪本 邦夫



◇阪本君カンバック入会ありがとう。歩こう会にも参加して下さい。  
 泉 房次朗



◇委員会活動計画発表、がんばってください。  
 後藤信博、本田耕二、片井貢、畔田実、那須壽子、野村憲司、岡本博、奥平朋久、大久保勝也、佐田一三、坂本正人、武田静也、竹村英一、谷中順次郎、上原俊宏、早稲田清司

◇阪本邦夫さんお帰り。再入会ありがとうございます。  
 中川 文恵 木村 壽一



◇孫と娘が帰ってきました(\*^~\*)  
 愛須 勝章



◇委員会発表、がんばります。  
 岩崎泰人、前田吉彦

中嶋 伸和

浦地 章

◇早退お詫び申します。  
 丸山 博之 吉田 和枝



◇委員会発表、がんばります。  
 今年は円安で、ロータリーレートが100ドル=12,400円です。心苦しいのですがご支援宜しくお願いします。  
 森本修至

坂本 正人

玉置 和男

◇お花頂きます。  
 橋本 隆





## 〇にここに報告 (敬称略)

◇酒の強かった私が、最近、お酒で記憶が飛ぶことが、しばしば有りました。不思議でしたが、原因が解りました。

おしっこの『利尿剤』を服用したら、飲酒は、大変危険です。麻酔状態になりますね。皆さん、絶対に危険ですから止めましょう。朝に飲んだ利尿剤でも、夕方のアルコールで私は、

麻酔状態になり、先日、12時間も眠ってしまいました。麻酔状態ですよ！！



北村 圭司

## 〇会長報告

坂本 正人



■本日のプログラムは2015～2016年度委員会活動計画の発表の後半です。担当の委員長の皆様、後ほど宜しくお願い致します。

■7月17日(金) 田辺市暴力追放協議会総会が開催される予定でしたが、台風が接近していた為、延期になりました。

■和歌山東RCより例会場変更のご案内が届いております。

(旧) ルミエール華月殿 (6月18日(木)まで)

(現) ダイワロイネットホテル和歌山4F

(7月2日(木)より)

〒640-8156 和歌山市七番丁26-1

例会日時 毎週木曜日 12:30～13:30  
(従来通り)

メーキャップ料 2,500円

■本日は奉仕食となっております。ご協力宜しくお願い致します。

## 〇幹事報告

畔田 実



### ■例会日時変更

◎白浜RC 7月17日(金)→ 休会  
(台風接近のため休会)

◎和歌山南RC 7月17日(金)→ 休会  
(台風接近のため休会)

◎白浜RC 8月 7日(金)→ 休会  
8月14日(金)→ 休会

◎田辺RC 8月13日(木)→ 休会

◎那智勝浦RC 7月30日(木)→ 8月 2日(日)18:30～  
場所: ホテルなぎさや <家族親睦会>

8月 6日(木)→ 8月11日(火)19:00～  
場所: サンかつうら<家族親睦花火大会見学会>

8月13日(木)→ 休会

◎御坊東RC 8月12日(水)→ 休会

◎有田南RC 8月11日(火)→ 休会

◎有田RC 8月13日(木)→ 休会

9月24日(木)→ 休会

◎海南東RC 8月 3日(月)→ 8月 3日(月)19:00～

場所: 海南商工会議所4F

8月17日(月)→ 休会

◎海南RC 8月12日(水)→ 休会  
8月26日(水)→ 8月27日(木)18:00～  
場所: マリーナシティホテル <夜間夫婦例会>

◎海南西RC 8月13日(木)→ 休会

◎高野山RC 8月14日(金)→ 休会

◎和歌山東南RC 8月12日(水)→ 休会

◎和歌山中RC 8月14日(金)→ 休会

◎和歌山南RC 8月14日(金)→ 休会

◎和歌山北RC 8月17日(月)→ 休会

### ■回覧

◎南方熊楠顕彰会事務局より

「南方熊楠ニュースレター No.23」

◎社会福祉法人やおき福祉会

「平成27年度やおき後援会総会のご報告」

「やおき後援会への御入会・御更新のお願い」

「自動販売機の設置が働く障がい者の支援になります。」

◎2014-15年度青少年交換委員長 山田正人様より

「2014-15年度長期派遣学生帰国報告会・2015-16年度長期派遣学生歓送会のご案内」

◎豊澤ガバナー事務所より「地区役員のおお願い」

(青少年交換委員 武田静也会員)

### ■連絡

◎8月のロータリーレートは 1ドル=124円です。



# 委員会報告

## ○増強委員会 中川委員

本日、再入会いただきました阪本邦夫さんです。お帰りなさい。

阪本です。再び帰ってまいりました。新しい会員の方もいらっしゃいますので、自己紹介させていただきます。私は上富田町で電気工事業を営んでおります。当クラブでは同業で、橋本氏、木村氏がいらっしゃいます。いま、中川さんにも紹介いただきましたが、孫が2.5人(?)おります。男の子が2人と、間もなく誕生します子は女の子で3人になります。目に入れても痛くない孫ですが、女の子ですのもっと可愛がりたいと思います。来年65歳になりますが、再びRCに入会させてもらいましたので頑張っておRC活動をしていきたいと思っております。



## 本日のプログラム

### ○2015-16年度委員会活動計画発表

#### ⑨出席委員会

委員長 岩崎 泰人  
副委員長 愛須 勝章  
相談役 丸山 博之



- 1 無断欠席をなくし、出席率の向上につとめる。
- 2 欠席者にはメイクアップの励行を促す。
- 3 皆出席者には記念品を贈り、例会でその功績を讃える。

#### ⑩職業奉仕委員会

委員長 野村 憲司  
副委員長 木村 壽一



- 1) 移動例会等において、職場見学、研修を実施する。
- 2) 会員がそれぞれ職業奉仕についての卓話を行う。

#### ⑪社会奉仕委員会

委員長 片井 貢  
副委員長 栗山 侑三  
(人間尊重)  
委員 丸山 勇人  
(環境保全)



#### 社会奉仕部門

識字率向上の運動に協賛する。  
地域のニーズに合った奉仕活動をする。  
献血活動を推奨する。

#### 環境保全

環境保全に関する卓話を企画する。

#### 人権尊重

社会奉仕の理念に基づき、高齢者、障害者への支援。

#### ⑫青少年奉仕委員会

委員長 武田 静也  
副委員長 小山 實  
委員 玉置 和男



新世代の基本的ニーズ（健康、人間の価値、教育、自己開発）を支援する。

1. RYLA (Rotary Youth Leadership Awards) ロータリー青少年指導者養成プログラムへの参加を学校及び高校生に呼びかける。
2. 奉仕活動による人格形成につながる活動をする。
3. 交換留学を受け入れる。
4. 地区が不安定なため交換留学生の為のプログラムを親睦委員会と提携して、留学して楽しかったと思えるようにしたい。

#### ⑬国際奉仕委員会

委員長 前田 吉彦  
副委員長 北村 圭司



1. ロータリー財団、米山奨学会の活動を支援協力する。
2. WFA (世界親睦活動) を推進していく。

#### ⑭R財団委員会

委員長 森本 修至  
副委員長 沖 史郎



1. 会員全員に100ドル（米貨）の支援をお願いします。
2. ロータリー財団（RI、地区、他のクラブ）の活動状況を収集し、内容をしっかり把握し、クラブの活性化につなげたい。

#### ⑮米山奨学委員会

委員長 後藤 信博  
副委員長 石井 達



1. 米山奨学寄付制度に理解を頂き、米山功労者、準米山功労者の増加を図り、地区目標の達成に努力する。
2. IM1組の米山奨学生・米山学友の当地方での行事に協力をする。



## 田辺祭りの意味合い

①

本邦の祭りのシステムは多くの場合古来中国哲学のうち、陰陽十干十二支が背景にあることがしばしば見受けられる。それは風水とか陰陽道と呼ばれるものである。

例えば、祇園祭。京都の八坂神社に祭られる主祭神は「牛頭天王」であり、怨霊神の親分であるとされる。

毎夏の颱風、水害、虫害に加えて疫病などは「たたり神」としての「牛頭天王」のなせる技であるとされていた。古く京の都では弘法大師空海などがこの怨霊を静めるために神泉苑にて御霊会を行うのが常であった。この「たたり神」を慰撫しその年の怨霊を鎮め、平安な夏、ひいてはその年の豊作を祈願する祭りであったのである。この祭りの特質として、夏の、詳しくは土用の日に行うのが目的を果たしやすくとされている。しかも、牛頭天王であるから、牛の日に祭祀を挙行するのが理にかなうとされていた。故に祇園祭は盛夏というよりも土用の丑の日に祭りを行う事により御霊会としての最大の効果があるとされていたのである。つまり八坂神社の神幸祭は7月中の丑の日に行われるのが所以である。

ところが、これは旧暦の話。グレゴリー歴に変わってからは祭りの意義は無視され、16日、17日頃に神幸祭が行われるようになっている。御霊会としての神事よりも庶民慰撫の祭事を選んだのであろう。

②

田辺祭りは見た目、明らかにミニ祇園祭である。これは江戸時代の初め徳川頼宣が、そして安藤氏が紀州を統治し始めてからのことであり、これも神事というよりは庶民慰撫の意味合いの強い祭りとなっている。

しかし、鬪鶏神社で古来からの由緒としての神事が行われていると思えるのが、渡御と暁の祭りである。この二つの神事が古来からの鬪鶏神社の祭りであり、笠鉾巡幸は新しい時代の田辺の町民慰撫の「おまつり」に過ぎないと言えよう。しかも、どうみても京都の祇園祭の体をした祭りとなっている。この祭りの意義は御霊会とは多少異なるので、なおさらその意義が分かりにくくなっている。それでも寛永十年頃からの伝統があるので五百年ほどの由緒はあると言える。意味合いは不明のまま継承されたのである。

③

神社の名前の由来として鬪鶏神社あるいは鶏合せ神社を選ぶとするならば、源平の頃からこの神社はあったはずで、したがって固有の祭りも又在ったはずである。今、その姿が殆ど見えないのである。先に記したように、江川渡御と暁の神事が徹かに古来からの祭りの意義を伝えているのである。それがどのような意義があるのかは、わからない。特に暁の神事に参加することにより、古来からの祭りの意義が分かるかも知れない。きっと大きなヒントがあるに違いない。

だから、渡御はいいとしても暁の神事を見なければ、これに参加しなければ田辺祭りに参加したとは言えないのではないだろうか。

④

平安時代に熊野別当の湛決(たんかい)が、本宮大社から熊野坐(くまのにます)神を勧請して今熊野神社：鬪鶏神社

としたとされている。勿論、当時はすでに平安以前からの地主神が祭られていたはずである。その神の上に、熊野の十二神が追加勧請されて祭られているということになる。現状の本宮大社の主祭神は「家都御子大神」、つまりどうみても稲作の豊穰の神が祭られているが、本宮の神を全て勧請したとすると、鬪鶏神社にも家都御子大神が祭られていなければならない勘定になる。しかし鬪鶏神社に本宮大社の主祭神の名前は見当たらないのである。どうみても、家都御子大神は結局、それまで鬪鶏神社とされる社に祭られていた同系統の神、詳しくは稲作の神である「うかのみたま」に習合されたのであろうと思う。

また、本宮大社の主祭神の例大祭は、春の予祝祭(稲作の成功を祈る祭)であるので本来ならば鬪鶏神社の第一の祭りである例大祭は春に豊穰を祈る祭りでなければならない。

つまり、祭神とは全く別の意味の祭りを、夏に田辺祭りとして御霊会をしているという不思議な神社が鬪鶏神社であると言えよう。

⑤

湛快の前の時代から今の鬪鶏神社(おそらく当時の統治者は田辺氏であったので田辺神社とか言う名前の神社であった可能性がある。)は、平安の頃、地理的には本宮大社の西の方向に存在することが歴史的事実として認められる。

五行で言えば西の方向は、西であり西方の正畜は鶏であるということになる。(北はねずみ、東はうさぎ、南はうま、そして西は鶏)この五行の思想からすると、鬪鶏神社は本宮の西にあるので「西ノ宮」あるいは「鶏の宮」と呼ばれていたに違いない。兵庫県の西宮神社の所以が主祭神のえびすの始めに祭られた鳴尾の西であったことに由来するように。

⑥

鬪鶏神社は予め鶏の宮とか西宮というふうには呼ばれていたであろうから、鳥との由来があるともされていた可能性がある。そんな折、源平の合戦があり、清盛恩顧の鬪鶏神社ではあるが、滅亡寸前の平家に加味することは当時の鶏の宮、ひいては本宮大社の発展に影響する。それで、鶏合せと称する呪術を行ったのである。

謂われによると、七匹の白鶏と七匹の赤鶏を戦わせ、その勝敗を神の審判として受け入れる事になったという。しかし、鬪鶏神社で鶏合せをすると如何なる理由によっても白鶏が勝つことになっている。宮尾氏の小説では黒子(配下の忍者みたいな存在)が赤い鶏(平家を意味する)に少量の毒を盛ったという意味合いの表現にしている。

五行思想によると、東は青、南は赤、西は白、北は黒と決まっている。つまり西ノ宮で鶏合せをすると本来の鶏の色として白が選ばれるのは自明の理である。五行思想で言えばまさに摂理であると言えるのである。

逆に、本宮大社で鶏合せ神事を行うと、本宮は東であるから青い鳥が勝つことになる。赤い鶏を克たせなければ南方の神社、例えば潮岬神社とか近くは日神社で鬪鶏をおこなうと間違いなく赤い鶏がかつことになるだろう。

すこしばかり、鬪鶏神社のあるいは田辺祭りの由来のヒントを述べてみました。詳しくは、紀南文化財研究会の機関誌の小生の記事を参照ください。 文責 上原俊宏